

## 皮膚科 ~ Dermatology ~

皮膚疾患はアトピー性皮膚炎や乾癬などの皮膚の炎症を主体とした疾患から、悪性腫瘍や熱傷など多岐にわたります。大分県の最後の砦として様々な難治性皮膚疾患に対する高度な医療の提供に努めています。当科で適切な診断、治療を行い、症状の安定した患者さんには近医への逆紹介も積極的に行っています。

医学の進歩はめざましく、皮膚科領域でもここ数年で新たな治療法が数多く出てきました。



### ■取り扱っている主な疾患

#### 【皮膚がん】

皮膚にできる悪性腫瘍には様々な種類がありますが、とくに悪性黒色腫は悪性度の高い腫瘍として知られています。手術療法の他に、ここ数年で、悪性黒色腫の治療として免疫チェックポイント阻害剤、BRAF阻害薬が登場しました。

#### 【アトピー性皮膚炎】

重症例であっても6割程度は古くからある外用治療（ぬりぐすりの治療）で長期コントロールが可能であるとされています。当院でもまずは基本の外用治療の見直しから治療を開始いたします。目から鱗の「治すぬりかた」を指導しています。しかし、ぬりぐすりだけではうまくいかない方も中にはいらっしゃいます。そのような方への朗報として2018年承認の抗体製剤デュピルマブを皮切りに複数の新規治療薬が開発され、保険適用となりました。重症の難治性アトピー性皮膚炎も症状がほぼない状態まで改善できる時代になりました。

#### 【皮膚アレルギー・円形脱毛症】

かぶれ（接触皮膚炎）の原因究明のためにパッチテストを行っております。円形脱毛症は以前よりある紫外線療法や局所免疫療法のほか、難治性の円形脱毛症に対して近年JAK阻害薬という新薬が適応承認されました。

#### 【乾癬・掌蹠膿疱症】

乾癬・掌蹠膿疱症ともに皮疹だけでなく関節炎を合併していることもあり、他の関節炎を来たす疾患を鑑別します。また、掌蹠膿疱症は慢性扁桃炎などの慢性的炎症（病巣感染）が原因になっていることがあり、他科と連携して診療を行っています。外用療法の外、紫外線照射療法、内服療法、難治で病変が広い場合は生物学的製剤（注射の薬）も使用しております。皮疹が重症の場合や、関節症状を合併している場合は生物学的製剤の使用をお勧めしております。

当科では全ての皮膚疾患への対応が可能です。専門外来は、腫瘍外来（皮膚悪性腫瘍）、皮膚アレルギー外来、アトピー性皮膚炎外来、円形脱毛症外来を設置し、これらの疾患を専門にする医師による適切な診療を提供しています。

## 令和5年度大分大学連携病院長懇談会総会について

令和5年6月27日レンブラントホテル大分にて、大分大学連携病院長懇談会総会を開催しました。当会は、地域医療の充実のため、大分大学と県内医療機関が相互の交流及び親睦を深めることを目的とし、平成16年から行っています。

大分大学からは病院長を含めた44名が参加し、県内の医療機関からは72名の病院長や関係者の方が参加して下さいました。来賓として、工藤大分県福祉保健部長が参加して下さいました。

三股病院長他からの挨拶の後、医師の働き方改革の進捗状況、新たに設置した低侵襲手術センターや肥満・糖尿病先進治療センターの紹介など、各連携医療機関にお知らせしたい当院の状況について講演を行いました。その後、意見交換が行われ、本院と連携医療機関及び大分県の医療の更なる充実を祈念しつつ、盛会のうちに終了しました。



(文責：総務課)

## 令和5年度職員接遇研修を開催しました

本院では、毎年度、接遇力向上のため職員接遇研修を実施しております。

本年度は、7月18日(火)にオフィス プレイズ代表の目賀田 美奈子(めがた みなこ)先生を講師に迎え、「病院における接遇の重要性を再確認する」と題して講演いただきました。目賀田先生は、東京大学医学部附属病院接遇向上センターの顧問をされているほか、全国の民間企業、行政機関、大学・専門学校、医療機関及び医師会等にて、研修・講演及びコンサルタント業務もされています。

講演では、医療人として、また組織人としての接遇の重要性と、相手の立場を考えて、挨拶や言葉遣い、表情や身だしなみ、態度を意識して接遇を行うことの大切さを多くの具体的な事例をもとに分かりやすく教えていただきました。

今回の研修により、職員一同接遇の重要性を再確認して、自らのこれまでの接遇を見直す機会となりましたので、今後、研修で学んだことを実践することで、患者さんや家族の方に少しでも快適に過ごしていただき、信頼いただける病院となるよう努めて参ります。



(文責：医事課)

# 大分大学医学部附属病院市民公開講座

令和5年度第1回大分大学医学部附属病院市民公開講座が、7月16日(日)にJ:COMホルトホール大分の会議室にて開催されました。

今回は、循環器内科・臨床検査診断学講座の高橋尚彦教授が担当し、「心臓病のカテーテル治療はここまで進んだ—狭心症・心筋梗塞と心房細動—」をテーマに、同講座の油布邦夫准教授が「狭心症・心筋梗塞のカテーテル治療」について、篠原徹二講師が「心房細動のカテーテル治療」について、講演しました。

受講者は、講師の説明に耳を傾け、熱心にメモを取り、受講後のアンケートでは、講演内容についてわかりやすく、役に立ったとの感想が多く寄せられました。

## 大分大学医学部附属病院市民公開講座 直近の開催予定

令和5年10月29日(日)14:00~15:30  
J:COMホルトホール大分303会議室

腎泌尿器外科学講座担当:

テーマ「身近な臓器移植—腎臓移植の最先端—」(予定)

先着50名(事前申込み制、受講料無料)

※今後、11月、令和6年1月及び3月にも開催予定ですので、詳細は、新聞やホームページ等でお知らせします。



総合司会 高橋 尚彦  
医学部循環器内科・臨床検査診断学講座 教授



油布 邦夫  
医学部循環器内科・臨床検査診断学講座 准教授



篠原 徹二  
医学部循環器内科・臨床検査診断学講座 講師

(文責:総務課)

## マイナンバーカードで 限度額適用認定証の申請を省略できます

入院などで、診療費が高額となる場合に限度額適用認定証を提示頂くと、月の限度額を超える分については窓口支払いが免除されます。

この限度額適用認定証を受け取るには保険者に申請を行う必要があります。保険者によっては発効までに数日を要する場合がありますが、マイナンバーカードがあれば、限度額適用認定証を提示した場合と同様の扱いをすることができます。

マイナンバーカードを使用して限度額適用を行う場合には外来ホール1番窓口にはカードリーダーが設置してありますのでそちらをご使用ください。

(文責:医事課)



**手続きなしで限度額を超える  
一時的な支払が不要に!**

限度額適用認定証がなくても  
高額療養費制度における  
限度額を超える支払が免除される!



おしえて！

## 栄養サポートチーム (NST) とは？

栄養摂取は生命の根源です。栄養療法は色々な治療を行う上で基本となり、入院されているすべての患者さんに良好な栄養状態を保つ努力が必要です。栄養と聞くと食事をイメージしますが、治療中は食事のみではなく、必要な場合は栄養剤や点滴を組み合わせ、栄養を摂取していきます。食生活のことは、栄養士が最も知識を持っていますが入院中は基礎疾患による消化や代謝への影響、噛み合わせや



飲み込み、手術や薬による副作用など様々な理由で栄養状態が低下していくので、多方面から患者さんの状態を把握し、介入することが必要です。このため、当院ではそれぞれの専門家を含む多職種による「栄養サポートチーム (NST)」を組織しています。

当院の栄養サポートチームは、委員長の消化器外科・高度救命救急センター医師と管理栄養士を中心に、内分泌・糖尿病内科医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師ならびに言語聴覚士で構成しており、随時の栄養相談に加え、カンファレンス・回診を週に1回行っています。カンファレンスでは患者さんの状態や治療状況を多職種で評価し、回診により腹部症状や口腔内環境などを診察するとともに、趣向や食欲の有無などを確認し、食事や栄養剤の変更、点滴をはじめとした薬剤の調整を主治医や担当看護師へ提案しています。緩和ケアチームや褥瘡チーム等とも連携し、より効果的な介入を目指しています。

NSTは病院内のみならず、地域の医療機関と連携することで地域医療全体にも変革をもたらすことができる可能性があります。大分NST研究会などの活動を通じ、地域一体型NSTの構築にも貢献し、更には病院内でNST専門療法士の教育もスタートしました。最終的には全職員がNSTの構成員としての認識を持つようになることを目標に活動を継続していきます。



(文責：栄養サポートチーム委員長 柴田 智隆)

シロース

病院で働く  
さまざまな  
職種

# 「臨床検査技師って どんな仕事？」

皆さんは臨床検査技師という職種をご存知でしょうか？

今回は「臨床検査技師」の行っている仕事についてご紹介します。

私たち検査技師は、医師の指示のもと診療に必要とされる各種検査を行う職種です。

業務内容は大きく2つに分けられ、患者さんの体を直接検査する生理機能検査と患者さんから採取した尿・血液・糞便・細胞などを用いる検体検査があります。

生理機能検査は、心臓が動く時に発する電気信号を捉える心電図検査、肺活量などの呼吸状態を把握する肺機能検査、血液の流れや血管の詰まりを検査する超音波検査、脳の活動状態を調べる脳波検査などがあります。

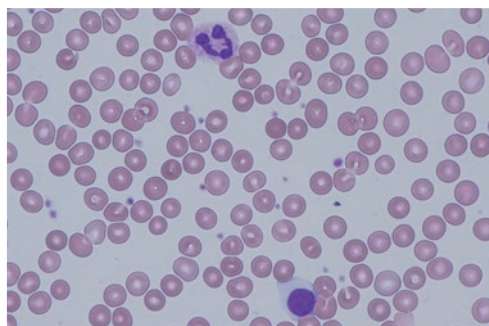
検体検査は、血液の血球成分（白血球・赤血球など）を調べる血液検査や血液中の糖・タンパク質・ビタミン・ホルモンなどを調べ、肝臓や腎臓といった体内の状態を判断する生化学検査、尿に含まれる成分や細胞を調べる尿検査があります。その他にも、ウイルスや細菌などの病原体に感染した際に行う微生物検査や手術の際に行う輸血検査、顕微鏡を用いてがん細胞の有無を調べる病理検査、新型コロナウイルスなどの病原体のPCR検査を行う遺伝子検査などが挙げられます。

心電図検査や血液検査や生化学検査・尿検査などは健康診断で広く行われている検査ですので、皆さんに馴染みのある検査だと思います。

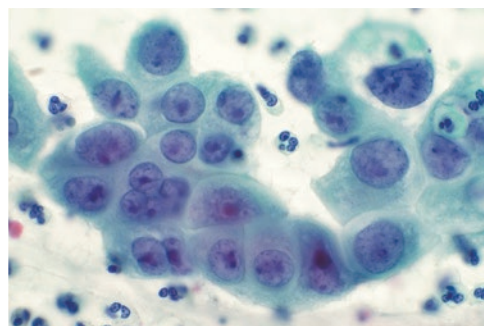
私たち検査技師は、このような検査を正確かつ迅速に行い、医師に報告することで正しい診断と効果的な治療を行えるように尽力しています。

検査を受ける際に、気にかかる点やご不明な点などありましたら、遠慮なく担当スタッフにご相談ください。

(文責：検査部)



血液像



細胞像

あなたの声  
を  
待っております

## 良い病院になるために

患者さんの声は、要約して載せておりますので  
ご了承ください。



声

シャワー室に時計でなくても良いので、タイマーが欲しい。  
入室からの経過時間がわかり、退室時間を気にする心配がなくなるので  
設置をお願いします。

回答

貴重なご意見をいただきありがとうございます。  
全病棟の浴室、シャワー室について、現状確認をいたしました。  
経過時間の把握が出来るよう、時計の設置がされてなかった箇所につい  
ては、新たに設置をいたしました。



声

手術待合室の説明が口頭のみであったため、わかりづらく、迷いました。  
お忙しいとは思いますが、患者本人も家族も、不安でいっぱいなのが、  
このような対応にはとても失望しました。

回答

貴重なご意見をいただきありがとうございます。  
患者さんのご家族へ、各病棟より手術待合室（家族待機室）までのご案内  
内をする際には、新たに作成した説明用紙を用いてご案内するように  
いたしました。



### \ 感謝の声 /

声

食事が美味しいです。品数も多くて、食事が来るのが楽しみです。  
あたたかい食事を毎回ありがとうございます。  
デザートやフルーツがついてくるのがうれしいです。

回答

うれしいお言葉をいただき、感謝いたします。  
栄養管理室スタッフ全員で共有いたしました。  
今後とも患者さんに喜んでいただける食事づくりに一層努力いたし  
ます。



(文責：病院長)



## 大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411(代)  
大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

これまでの「かけはし」は、医学部附属病院ホームページからご覧いただけます。

